

芝浦工業大学柏高等学校

2021 年度高校入試分析

国語

全体を通して

第1回・第2回とも「論説文」「随想または小説」「古文」の3題構成、および各回それぞれの設問も、問数・設問内容・レベルが同じになるように作られています。すべて選択式問題ですが、漢字の問題、文章を踏まえた意見やその根拠を選ぶ問題、古文の問題で差がついています。

差のついた問題について

- ①漢字の問題（2回□（1）②「即死」）で20%近い差がつかしました。同音異義語なども含め、語句の知識を深めましょう。普段から論説文などを読み、知らない語は調べるように習慣づけるとよいでしょう。
- ②論説文では、ただ文章を読むだけでなく、二つの文章を比べ読みしたり、筆者の主張を読んで（根拠にして）自分の意見をもったり具体例を考えたり、本文全体の趣旨を問うなどの、思考力を問う問題を継続して出題しています。普段から文章を読む際に難しい語句や内容を自分なりにかみくだいて理解し、それに対する意見を持てるようにしておきましょう。
- ③小説でも論説文と同様に本文中に根拠をもつことを忘れてはいけません。答えを確定させる前に、思い込みによらないように必ず本文に立ち返るようにしましょう。表現の特徴を問う問題もなんとなくではなく、きちんと本文中の表現に戻って判断するようにしましょう。
- ④古文では、1、2回とも、多くの問題で10～20%前後の差がついています。練習量の差であると思われます。できるだけ時間を見つけて古文に触れ、音読する機会を増やすとよいでしょう。その際、主語（動作主）が誰なのか、何をしているのか、指示語は何を指すのか、などを意識しながら読むようにしましょう。

①漢字【第2回一（1）②】

②
ソクシ
ア ヤクソクは必ず守る。
イ キソクを決める。
ウ 自動車のソクドを制限する。
エ 成長をソクシンする。
オ 国王がソクイする。

答え オ

②論説文の本文全体の趣旨についての問題【第1回一（8）】

(8) 本文全体の論旨の説明として最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

- ア 難読症、失読症といった疾患の認識の度合いから、日本語の特殊性ゆえに行動や思考が規定されているという現状がわかり、日本でも難読症や失読症の問題について目を向けることが重要だといえる。
- イ 漢字とかなを同時に操作するという特殊性によって日本語話者はさまざまな恩恵を受けていることがわかってきたので、日本では日本語を守るためにさまざまな規定が設けられてきたと考えられる。
- ウ 難読症、失読症といった疾患と漢字を言語に用いるかどうかは関係しており、表意文字である漢字を用いて言語操作することで、難読症、失読症の問題を解決することができるのではないかと考えられる。
- エ 漢字とかなが併用されるという日本語の特殊性は、さまざまな形で日本語話者に制限を与えており、その特殊性から生じる思考と行動の結果、日本では新しい表記体系を採用することは難しい。
- オ 難読症、失読症という疾患の病態によって、日本語の脳内での操作がいかに特殊であるかがわかり、その特殊性の影響は日本語話者の考え方はもちろん、行為にまで及んでいるのではないかと考えられる。

答え オ

③小説文の本文の後の展開について推測する問題【第2回二（7）】

(7) この文章の後の展開についてクラスで話をしているが、最も妥当だと思われる予測をしているものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

- ア 久美子は、友恵がこれからどこで作業するのだろうかと心配しています。友恵の夏紀への態度は穏やかでしたが、どこか寂し気な雰囲気も感じます。そのため、このあと友恵が吹奏楽部での居場所を失う展開があり、久美子や夏紀がそんな友恵を救うのだろうと思います。
- イ 友恵は穏やかな表情で夏紀からの感謝の気持ちを聞いていますが、久美子は二人の様子を他人事のように思っています。このあと久美子は、友恵や夏紀に対して疎外感を感じるようになり、マネージャーとして働く友恵との関係が悪くなる予感があります。
- ウ 友恵は久美子や夏紀に気付かれないように二人への応援の気持ちを表しています。二人は、これまで以上にオーディションやコンクールに向けて力を入れていると思いますし、その二人を見て、友恵も結局マネージャーをやめ奏者にもどるだろうと思います。
- エ 友恵が、久美子や夏紀から慕われていることがよくわかります。友恵はマネージャーとして、奏者の負担を減らして、練習しやすい環境をつくっていくでしょう。吹奏楽部のみんなも、友恵のためにもコンクールをがんばろうという気合いがより高まると思います。
- オ 友恵はマネージャーの仕事をがんばるつもりでいます。友恵はマネージャーとして久美子や夏紀の負担を減らし、久美子がオーディションに受かるように、厳しい指導をするでしょう。そのおかげで久美子は、A編成のメンバーになれると思います。

答え エ

④古文問題【第2回三(4)(5)】

(4) 文章中の ^Cこの千が一の徳をならひて、かの万が一の失をのがるべしで筆者が言おうとしていることとして、最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア 愚かな者にも千に一つのよいところはあっても、賢い者からすればらしい考えを学ぶことの方が、万に一つの失敗をすることが減るだろうということ。

イ 人間は誰しも愚かなところが千に一つはあるけれども、わずかにあるよいところを生かして万に一つの失敗を防ぐ努力をすべきだということ。

ウ 賢い者も、万に一つの失敗をすることがあるし、愚かな者にも千に一つのよいところがあるので、一度の失敗だけでは評価することができないということ。

エ 愚かな者にも千に一つのよいところがあるので、それを学ぶことによつて、賢い者も万に一つの失敗を防ぐことができるということ。

オ 愚かな者のもつ千に一つのよいところを見習っていても、賢い人が失敗をすることを完全になくすのは万に一つも不可能だろうということ。

答え エ

(5) 本文から読み取れる筆者の考えとして最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア 人の上に立つ者は、身分の低い者や世間の人々に対しても謙虚な態度をとりながら、世間で問題になっていることを見つけだし、決して手を抜くことなく対処しなくてはいけない。

イ 人の上に立つ者の条件の一つは必ず戦に勝てることであるが、そのあとに傲慢になって身分の低い者を見下し、声すらかけようとしなければ、いずれは自分の身を滅ぼすことになるだろう。

ウ 世間で流れているうわさの中には重要なことが多いので、まず世間の中に入って身分の低い者から必要なことを取り入れようとするのが、人の上に立つ者の条件だ。

エ 身分の低い者も決して見下すことなく、物事を学ぼうとすることは恥ずかしいことではなく、世間のくだらないうわさ話を聞くよりは、ずつとためになる。

オ 人の上に立つ者の条件は、どのような身分の者からも話を聞き出し、学ぶことを当然のようにできるだけでなく、世間から聞こえてくる話にもしつかり耳を傾けられることである。

答え オ